蒙を啓く

学校だより９月号　2022.9.22

福井市啓蒙小学校

福井市開発1-1008　TEL：54-2819　FAX：54-9769　E-mail：keimo-e@fukui-city.ed.jp

学校だよりは、啓蒙小学校ホームページでもご覧いただけます。http://www.fukui-city.ed.jp/keimou-e/

39日間の夏休みを終え、学校に子供たちの笑顔が戻ってきました。夏休みの間、子供たちは啓蒙地区で、しっかりと健康な毎日を過ごすことができたようです。地域の皆様には、様々な場面で子供たちに声かけや見守りをしていただきました。温かいご支援ありがとうございました。また、８月２８日（日）には、PTA奉仕活動としてたくさんの保護者の皆様に、校舎の美化（草取り・トイレ掃除・窓ふき・溝掃除など）に取り組んでいただきました。ありがとうございました。

さて、9月に入り過ごしやすい日も出てきましたが、まだまだ、30度を超す日が続くなど、残暑が厳しい毎日です。熱中症や新型コロナウイルス感染症の予防をしっかりと行いながら、日々の学校生活を送っていきたいと思います。今月の終わりには校内体育大会が行われます。６年生を中心にしっかりと取り組み、思い出に残る楽しい体育大会にしてほしいです。

1　夏休みのできごと　全校集会：8月29日（月）

３９日間の長い夏休みが終わりました。校長先生との三つの約束を守ることはできましたか。一つ目は「自分の命は自分で守ります」、二つ目は「夏休みにしかできないことに挑戦します」、三つ目は「家族の一員として、役に立ちます」でしたね。夏休みにがんばれたことをこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。

さて、今日は校長先生のこの夏休みの素敵なできごとのお話をします。キーワードは「あいさつ」と「つながる」です。

先生は毎朝、みなさんが寝ている、まだ太陽が出ていない暗い時間帯にジョギングをしています。決まった時間に走っていると、決まった場所で同じ人と出会います。新聞を配達している人。お店に商品を運び込んでいるトラックの運転手さん。たくさんの人たちがまだ暗い中で働いています。

夏休みに入って、新しい人と出会うようになりました。それは犬を連れて散歩している人です。その出会いは突然でした。暗闇だったこともあり、出会う直前までそこに人がいることに気づきませんでした。だから、出会ったときにはびっくりして、その場を逃げ出すように走りさりました。

次の日、「また、あの人と会うのかな？」と考えながら走っていました。すると、ほぼ同じ場所で出会いました。予想していたので、今回は驚かずにすみました。「昨日のこと覚えているかなぁ」「変に思っていないかなぁ」などと考えながら、だまって横を走り抜けました。

それからは、走るたびに、決まった場所で、黙ったまますれ違うことが続きました。

あるとき思い切って、勇気を出して声を掛けてみました。「おはようございます。」すると、「おはようございます。」と返ってきました。とってもうれしい気持ちになりました。今まで言葉を交わしたことのない人と、つながることができたからです。

今でも、その人の名前やどこに住んでいるのかはまったく知りません。しかし、先生にとって、ジョギングをしているときに出会う大切な人となりました。きっとその人も、先生のことを同じように思ってくれていると思います。今朝もジョギング中に、挨拶を交わしてきたんですよ。

このように校長先生は夏休み、ある人とあいさつでつながることができました。これからみなさんも、少し勇気を出して、いろいろな人とつながっていってほしいと思います。

2　校内体育大会スローガン：強い絆で　ベストをつくし　笑顔で　優勝一直線

校内体育大会（９月29日）が近づいてきました。朝の時間には、６年生が１～５年生のクラスに、応援のやり方を教えに行っています。最上級生として、自分たちが中心になってがんばろうという姿勢が見られて、とてもたのもしく思います。今年は、６年生が２クラスなので赤組と白組の２色に分かれて競技を行います。コロナ禍でなにかと制限が多い学校生活ですが、思い切り体を動かして体育大会を楽しみ、思い出に残る１ページを残して欲しいと願っています。

それでは、各色の応援団長のメッセージを紹介します。

赤組は「太陽」のように、熱く、明るく燃え上がり、正々堂々戦いぬくことを目標にがんばります。

団長としての責任をもって、赤組が優勝できるようにカー杯努力します。みなさんも協力していっしょに優勝を目指しましょう。

私が一年生だったころの６年生がかっこよかったので、応援団長になりました。

白組は「ホワイトタイガー」のように、風をきって突き進み、仲間と共に栄光をつかみ取ります。１～５年生のみなさん、６年生と共に栄光をつかみとりましょう。

感染症対策として、参観人数を各家庭２名（昨年は１名）までとさせていただきます。また、競技をしているお子様を密にならずにご覧いただけるように、保護者席の前の部分を「競技学年観覧席」とします。プログラムに合わせて、スムーズに観覧場所を交替していただけるとうれしいです。

3　啓蒙地区より寄贈品：ありがとうございます！

毎年、啓蒙地区の各種団体様（注１）から学校生活に必要なものを寄贈していただいています。昨年度は消毒用アルコールを10缶いただき、大切に使わせていただいています。そして、今年度は子供たちの熱中症対策として、下記のものを寄贈していただきました。

（注１）青少年育成福井市民会議・啓蒙公民館・市民憲章推進協議会・啓蒙青少年育成会
啓蒙小学校PTA・啓蒙地区社会福祉協議会　の6団体の皆様です。

- 経口補水液４ケース
- 塩分補給タブレット７袋
- スポーツ飲料２ケース
- 防菌ウエットワイパー１箱

他にも、地域の方から「ぞうきん」や「ベルマーク」をいただきました。「学校で使ってください」と、学校に持ってきてくださりました。ベルマークは、PTA活動としても収集に取り組んでおり、毎年鉛筆削りやCDカセットなどと交換しています。大切に使わせていただきます。

4　教育実習：将来の福井の教育を担ってくれる若者です！

平成25年度に本校を卒業した越井虹帆（こしい　にじほ）さんが、教育実習生として戻ってきてくれました。９月20日（火）から10月12日（水）までの３週間、２年２組を中心に教員免許を取得するために教育実習を行います。大学の決まりに則り、越井先生には、感染対策として２週間以上前から福井に戻り、実家で体調管理に努めてもらいました。

越井先生は、特別支援教育に興味があり、将来は教職に就きたいという希望があるそうです。充実した３週間となるように、教職員一同、支援していきます。

小学生の頃は、大休みや昼休みには一輪車を乗り回していました。久しぶりの啓蒙小はタブレットを一人一台持っていたり、牛乳が瓶から、紙パックに変わったりしていて、びっくりしました。3週間、いろいろな学年の子供たちから多くのことを学びたいです。